

令和4年宇治田原町議会活性化特別委員会

令和4年3月10日

午前11時08分開議

議 事 日 程

日程第1 ハートウォーミング自治体議会Webサミットについて

日程第2 宇治田原町中学生議会について

日程第3 その他

1. 出席委員

| | | | | |
|------|-----|-----|-----|----|
| 委員長 | 9番 | 馬場 | 哉 | 委員 |
| 副委員長 | 7番 | 藤本 | 英樹 | 委員 |
| | 1番 | 浅田 | 晃弘 | 委員 |
| | 2番 | 原田 | 周一 | 委員 |
| | 3番 | 宇佐美 | まり | 委員 |
| | 4番 | 山本 | 精 | 委員 |
| | 5番 | 山内 | 実貴子 | 委員 |
| | 6番 | 上野 | 雅央 | 委員 |
| | 8番 | 森山 | 高広 | 委員 |
| | 10番 | 榎木 | 憲法 | 委員 |
| | 11番 | 今西 | 利行 | 委員 |
| | 12番 | 谷口 | 整 | 委員 |

1. 欠席委員 なし

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

| | | | |
|--------|----|----|---|
| 事務局 長 | 矢野 | 里志 | 君 |
| 庶務 係 長 | 太田 | 智子 | 君 |

開 会 午前11時08分

○委員長（馬場 哉） 本日は、2月14日に実施をいたしましたハートウォーミング自治体議会Webサミット等について、協議をいたしたいと思います。

本日の委員会において、不適切な発言等がありました場合には、委員長において精査を行うことといたします。

これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（馬場 哉） ありがとうございます。

ただいまの出席議員数は12名でございます。

定足数に達しておりますので、直ちに本日の議会活性化特別委員会を開きます。

会議は、お手元に配付しております会議日程及び資料等により進めさせていただきます。

それでは、これより議事に入ります。

日程第1、ハートウォーミング自治体議会Webサミットについて、質疑に入ります。

それでは、私のほうから説明をさせていただきます。

お手元の資料のハートウォーミング自治体議会Webサミット報告のペーパーをご覧くださいと思います。

その後にこれに関連する新聞の記事が2枚目にありますので、それも参考にさせていただきたいと思います。

このWebサミットにつきましては、2月14日の月曜日、午前10時から午後11時55分まで開催をいたしました。当日は、谷口議長の挨拶の後、各自治体の議会の代表が自己紹介をされて、神河町議会は澤田副議長、大山崎町議会は山中議長が、また本町については谷口議長が、町の紹介を行い、サミットがスタートした次第でございます。

このサミットは特産品の紹介、また、ハートウォーミングな施策について議会の果たす役割、今後のハート自治体の交流について、この3本柱で進めてきた次第でございますので、少しずつ、補足説明をしながら、報告をしたいと思います。

まず、特産品の紹介では、神河町が柚子のハンドクリーム、柚子を使った洋菓子を紹介されました。

大山崎町は、マスクにつけるハート型のブローチを紹介されました。

本町は、谷口議長がかぶせ茶で緑茶の淹れ方、それから古老柿、ハートのブランド米

の袋を紹介されました。その後、当日参加している各議会の議員より、それぞれの自治体の特産品について、感想や質問を述べてもらいました。特産品については、神河町に対して柚子を加工されている商品について、ほかの自治体議会より高評価の感想があり、本町からも大変いい製品であるという評価があったと思います。

大山崎町につきましては、まだハートの関連した製品として開発途上のものがありますけれども、大山崎町の歴史の逸話に基づいた話等々をうまく発信していきたいというお話がございました。

本町のかぶせ茶の試飲につきましては、本町が全国品評会で賞を取られた上にかぶせ茶が有名でございますので、そのかぶせ茶及び緑茶について、議長がおいしい入れ方を紹介され、他の自治体の議員さんからとてもおいしいお茶を送ってもらって喜んだという感想がございました。

それから2本目の事項のハートウォーミングな施策について、議会の果たす役割については、それぞれ特色ある施策の紹介を行っていただきました。神河町のマスコットキャラクターを活かした地域住民の郷土愛の醸成や、少子高齢化に伴う子育て世代への手厚い施策、人口減少に対応するための移住・定住策を促進することについては、3つの自治体、それぞれ同じような悩みがあり、試行錯誤しながら議会としても当局に働きかけをしていきたいという意見交流があったところでございます。

今後のハート自治体の交流につきましては、本町の谷口議長のほうから、8月10日をハート自治体の日ということにすることはできないかという呼びかけがございまして、今回、参加ができませんでしたが、沖縄の南城市議会だけでなく、ほかの自治体にも交流参加の輪を広げ、いずれかの機会には、今回行いましたオンラインサミットではなく、一堂に会して自治体サミットが開催できるようにつなげていきたいという考えが述べられ、それについてはほかの2町の自治体の関係者についても異論はなかったことだというふうに思います。

今回、初めて、オンライン形式のサミットの交流でありましたけれども、実施を経験したことにより、時間さえ共有すれば、日本全国の場所は問わないというウェブ会議の利点を活かして、今日のような特別な機会だけでなく、日頃からオンラインでの交流や会議等にこのウェブ会議という手法を活用していければなというふうに考えているところでございます。

後ろの資料の説明をさせていただきますと、表面には、当日の様子が新聞記事にされたところです。裏面につきましては、これまでの取組について、経過等々が記事として、

説明をされているところです。

以上、簡単ではございましたけれども、ハートウォーミング自治体について説明をさせていただきました。これにつきまして、何か質疑、またご意見等ございましたら、挙手をお願いしたいと思います。

いかがでしょうか。ございませんか。

今西委員。

○委員（今西利行） 一同の同を間違っていると思うんですが。ごめんなさい。2ページの後ろから5行目ですか、可能なら一堂に会しての一堂はこの字じゃないですね。

字句上のことです。すみません。

○委員長（馬場 哉） ほかに、皆さんのほうで感想等がありましたら。

山内委員。

○委員（山内実貴子） なかなかやる時期も本当に大変な中で議会事務局が本当にいろんなところと交渉やっていたいてありがとうございます。

本当にできてよかったなと思っています。また、開催日も2月14日のバレンタインデーにしてみたり、また、議長からも提案がありました8月10日をハートの日ということで提案があったときも、本当にほかのところもそのようにしていきたいという意見もありましたし、また後日、京都地方税機構の会場でも大山崎町の山中議長にお会いしまして、すごく喜んでおられました。ぜひまた、南城市なども、コロナが収束すればぜひ視察等も行きたいということで、すごく前向きに考えておられたんで、また今後も広げていきたいと思いますというふうにおっしゃっていたので、また宇治田原町がホストやっていたいてよかったと思いますし、今後も続けていければなと思っていますので、ありがとうございます。

○委員長（馬場 哉） 藤本副委員長。

○副委員長（藤本英樹） 私もあの後、大山崎町の山中議長とお会いさせてもらって、ええ企画やったなという話をさせてもいただきました。その中で、やっぱり神河町のプレゼンテーションの仕方というか、ちょうどのパソコンの画面と話してはる人の内容が一致して、うまくプレゼンテーションしてはったなというのが2人とも意見でした。うちの宇治田原町のほうも何とかちょっとそういう長けた方にでもプレゼンテーションの画像とそれに合わせた台本いうたらおかしいですけども、シナリオをつくって町をアピールするようなこと、また考えていけたらなというふうに感じました。

以上です。

○委員長（馬場 哉） 確かに今後もこういう機会が増える中で、それぞれの議員の役割の中で、仮にウェブ上で何か町の紹介をしやなあかんとときに、やはりホームページなんかの画像を活用して町の紹介をするときに、ある程度、こういうページの個々の写真を紹介して自分たちの町をこういうふうにPRしていく、またほかの議会の議員さんにも案内していくと、手法については今後、この議会活性化特別委員会の中でまた勉強していきたいと思います。

ほかにご意見ございませんでしょうか。

谷口委員。

○委員（谷口 整） 2月14日、皆さんのご協力の中で無事というか思っていたよりも参加者は少なかったですけれども、内容的にはよかったんかなというふうに思います。準備等については今、藤本副委員長、馬場委員長言われたようにもう少し、次は一工夫したいなというふうに思います。今後、いろんな形でこれ続けていきたいと思いますし、あと2つの市町、声かけられる可能性もあるんで、そこらについてもまた次に向けて声をかけながらやっていきたいなというふうに思います。

これ、今回、馬場委員長のほうで報告まとめていただいたんで、ちょっと1点だけ、先ほど一堂じゃないですけれども。まず8月10日をハート自治体の日ということで限定的に書いてもらっているんですけれども、私、8月10日、ハートの日というふうにいうて、ほんでそれが無理なら自治体というふうに言うたんで、ちょっとニュアンスが違うんで、ちょっとそこそこだけはまずハートの日に変えておいていただいたほうが幅広いことになっていくのかなと。今は心臓財団が健康ハートの日というふうに決めているんで、単にハートの日になればいいなということです。それが駄目ならハート自治体の日ということでいきたいなと言うことを申し上げたんで、記録で残していただくんで、ちょっとそこだけ訂正お願いしたいなと。

○委員長（馬場 哉） はい。訂正をいたします。

○委員（谷口 整） いずれにしても、第1回にしては、まあまあ自己満足できる内容の取組であったということで、皆さんのご協力に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

○委員長（馬場 哉） ほかにございませんか。

榎木委員。

○委員（榎木憲法） 馬場議員の当日の司会もすごくよかったなと。うまかったなという印象を受けましたので、それを私一言申し上げたい。

○委員長（馬場 哉） ありがとうございます。

○委員（榎木憲法） なかなか場つないでいて、難しかったと思うんです。それをうまくテーマをつなぎ合わせながら各市町に話を振り、司会としてすごくよかったなというふうに感じました。

以上です。

○委員長（馬場 哉） ありがとうございます。

上野委員。

○委員（上野雅央） この件で関しまして、私欠席して、議長や委員長、皆さんにもご迷惑かけまして申し訳ございません。

特に、議長には私の役割いただいていた中で、お茶の入れ方等、やっていただいていたありがとうございました。すみません。

それと、思っていたんですが、ちょっと視聴できたらよかったかなと思って。Zoomのパスワードを教えといてもらったらよかったかなと。どうもすみません、ご迷惑かけました。

○委員長（馬場 哉） このサミットをほかの人にも視聴してもらおうということについては、ちょっと実現はかなわないかもしれませんが、この間行いましたこの一連のウェブ会議についてはDVDで一応画像と音声は録画しておりますので、また反省会等々でまたご覧いただきたい方は事務局のほうに連絡をいただいたらと思います。貸与できます、1枚だけですので。

当日はこの会議にアドレスとパスワードをほかの議員さんにもお知らせをして、参加するというのはちょっとかなわないことかなと、現実的にたくさんの会議。大山崎町も実はもっとたくさんの議員さんが参加したいとおっしゃっていたんですけれども、2つのアドレスに限定したんです。そこはちょっとまだ今後も調整が必要ですので、また検討していきたいと思います。

ほかにございませんか。

原田委員。

○委員（原田周一） 画面見て思ったんやけど、神河町でしたかね、議員さんがずっと並んでいたと思うんですか、あれは、何かなんかの委員会単位で出られているんですか。その辺は確認されました。例えば、こういう場合に広報の委員として出るとかあるいは何か総務関係か、土産物やったらそういう町おこしの関係の委員会が出るのとか、何かずらっと映っていたんで、その辺どんなかなと。そういう、うちが主催やったんで、全

員いうのもありやと思うんですけども、今後、逆によそがやる場合には何かそういうことも必要なっちゃうかなというふうに思います。

○委員長（馬場 哉） その件につきましては、本町は主催の議会でしたので全員の議員さんにご出席をお願いしたんですけども、神河町さんに関しては、希望しはった議員さんだけというふうに報告を受けています。

うちの議会も神河町も大山崎町も議員数は12人で同じ議会議員の数ですので、当日神河町については、そのうち4名でしたかね、参加されたということで。原田委員おっしゃるように、今後施策に絞って、せっかくながつながった3つの自治体ですので、何かテーマを決めた施策で交流というか話し合いをする場合には、うちの議会も3つの委員会がありますので、またいろんなそういう担当の方がWeb会議をするという手法も今後は考えられるかなというふうに思います。

ほかにございせんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（馬場 哉） ないようでしたら、この件については終了いたします。

次に、日程第2、宇治田原町中学生議会について説明をさせていただきます。

この件につきましては、先日の議員協議会のほうでお話しさせていただきましたけれども、中学生の質問に対して議員の皆さんが答弁書作成していただくということで、資料につけていますように、質問に対して、それぞれの議員が答弁を寄せていただきまして、大変一般質問等々でお忙しいときに、大変ありがとうございました。これについては、一応委員長と、議長、副議長のチェックが終わっていますので、この答弁書を学校に添えて持っていきたいというふうに思っています。

3月14日月曜日が中学校の卒業式ですので、3月11日金曜日の総務建設常任委員会終了後に、中学校に持参をしたいと考えております。議長と正副委員長が行ってまいります。

報告としてはこういうところですけども、何かご意見、感想ございましたらよろしくをお願いします。

ちょっと申し遅れましたけれども、先日の議員協議会では、恐らくまん延防止等重点措置が延長されるのではないかとということで、中止をせざるを得ないなということしたけれども、皆さんもご存じのとおり、延長されましたので、3月12日の中学生議会については中止をいたします。それで、その代わりといいますか、中学生がせっかく質問を寄せていただいたので、この答弁書を持って中学校にご挨拶とお礼に伺うということ

にしております。

いかがでしょうか、何かご意見ございますか。

浅田委員。

○委員（浅田晃弘） 先ほど委員長おっしゃったように、本当に忙しい中、見事にまとめていただいたなと思っております。若干修正箇所もございましたけれども、本当にすばらしいなど、皆さんの力量について感服いたしました。

ありがとうございました。

以上です。

○委員長（馬場 哉） ほかにございませんか。

当局の答弁書く気持ちがあったとかそういう話でも構いません。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（馬場 哉） ないようでしたら、この件についてもこれで終了いたします。

続きまして日程第3、その他について何かございましたらお願いをいたします。ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（馬場 哉） ないようですので、これで議会活性化特別委員会を終わります。

本日はご苦労さまでした。ありがとうございました。

閉 会 午前11時30分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

議会活性化特別委員会委員長 馬 場 哉